

単元名 ひょうと グラフ

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 表やグラフの形について、読み方、かき方を理解し、簡単な事象について、分類・整理し、表や●のグラフで表すことができる。
- (2) 数学的活動を通して、分類・整理するなど数理的な処理の仕方について考えることができる。
- (3) 事象を調べて分類・整理し、表や●のグラフに表そうとする。

標準的な展開例

02040102_001

【準備等】表とグラフの枠

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「すきなあそびしらべ」を基に、表やグラフを作る。[p. 10～p. 13]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の学習課題をつかむ。 ★数をわかりやすくあらわすしかたを考えていこう。 <p>○p. 145から好きな遊びを選び、黒板に貼る。</p> <p>○遊びごとの人数を数え、表に表す。</p> <p>○「●」を使ってグラフをかく。</p> <p>○表やグラフを見て、気付いたことを発表する。</p> <p>2～3 「本の数しらべ」を基に、2つの観点で表やグラフを作る。[p. 14・p. 15]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★しらべたいことをきめて、ひょうやグラフにあらわそう ○本の種類についての表やグラフをかく。 ○本の大きさについての表やグラフをかく。 ○表やグラフを見て、気付いたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表に表したり、グラフに表したりすることで分かりやすくなったことを実感させる。 ・生活と算数との関わりを話し、その中で、好きな遊び調べについて考えることを伝えて授業の焦点化を図る。 ・座席順や早い順に黒板に貼りに来させ、なるべくバラバラになるように貼らせ、どうすれば数を分かりやすくできるかを考えさせる。 ・「表」という用語を教える。 ・「グラフ」という用語を教える。 ・好きな遊びの人数や大まかな特徴をつかませ気付いたことを発表させる。 <p>【評】表やグラフをかいたり、そのよさを考えたりする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたいことを決めて表やグラフをつくり、そこから読み取れることや違いについて考えさせる。 ・数え間違いが無いよう、チェックしながら数えさせる。 ・同じ資料でも調べたいことによって、表やグラフが変わることを押さえる。 <p>【評】分類・整理して表やグラフをかく活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】

本単元は、「すきなあそびしらべ」について人数調べを行い、表やグラフなど統計的手法を用いてそのよさに気付かせる。